

# いじめ・不登校対策推進事業

[251]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業 コード	21-0101	実施 計画	対象
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合 戦略	
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

**対象(誰、何に対して事業を行うのか)**  
 小中学校児童生徒  
 保護者  
 教員

**意図(対象をどのような状態にしたいのか)**  
 小中学生が悩みを話せる場所が設置され、心にゆとりが持てるようになっている。いじめ・不登校の児童生徒及び保護者に対する教員のカウンセリング能力が向上し、指導助言により児童生徒が健全に育成されている。

**手段(事務事業の内容、やり方、手順)**  
 ・いじめ問題専門委員会(金城学院大学教授、弁護士、瀬戸旭医師会医師、臨床心理士、市社会福祉協議会)を設置し、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめ重大事態が発生した場合の調査を行う。  
 ・いじめ問題対策連絡協議会(小中学校、県中央児童・障害者相談センター、名古屋法務局、守山警察署、児童生徒の保護者、少年センター、市教育委員会)を設置し、関係機関が連携・協力する。  
 ・いじめ・不登校対策委員会(教職員、家庭児童相談員、教育研究室、適応指導教室、少年センターの16人で構成)を設置し、いじめ・不登校の実態把握及び指導支援事業を展開する。  
 ・いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識をもつスクールソーシャルワーカーを各中学校区に1名配置し、児童生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援をする。  
 ・いじめ不登校対策及び発達障がい等の諸問題に対応するため、心のアドバイザー3人を教育研究室に配置し、相談業務を実施する。  
 ・小中学校における不登校の未然防止・早期対応策として、児童生徒が悩み等を気軽に話せる心の教室相談員を各小中学校に1人配置する。  
 県派遣のスクールカウンセラーが各中学校に1人配置されている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動 指標	県スクールカウンセラーによる相談開設総時間	時間	1,260	1,242	1,260	1,242	
成果 指標	「心の教室相談員」への相談件数・来客者数	数	10,964	17,119	10,000	21,928	
	いじめ不登校対策事業の延べ参加人数	人	411	450	450	450	
事業費 計			6,798	9,779	15,421	14,766	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		425	800	800	
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		6,798	9,354	14,621	13,966

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> 余地が大きい	(状況) 尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会及び尾張旭市いじめ問題専門委員会を開催し、いじめ問題に取り組む体制を整えている。 児童生徒に対するいじめ・不登校の防止対策として、気軽に相談できる相談窓口を設け、早期対応に努めている。
--------	---	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	いじめ不登校対策、発達障がい等の学校教育に関する諸問題に対応していくために、スクールソーシャルワーカーを増員するなど、相談体制の充実を図ります。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

スクールソーシャルワーカーを配置し、家庭環境や社会環境が複雑ないじめ・不登校事案に対して、家庭や関係機関と連携し、早期対応・早期解決を図ることができた。  
 毎月スクールソーシャルワーカー連絡会を実施し、ケースに応じた適切な支援が行えるよう情報共有を行った。

# 適応指導教室（つくしんぼ学級）運営事業

[252]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0102	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	道徳性・社会性の向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	不登校傾向の小中学児童生徒(1ヶ月に7日以上休む児童生徒)	・心理的・情緒的な理由による不登校傾向の児童生徒を対象に適応指導教室(平日8:30~16:45運営、指導員3名)を運営し受け入れる。(場所:中央公民館1階) 教育相談、適応相談 適応指導、訪問指導 調査研究、啓発活動 情操教育やレクリエーション(遠足等)なども実施 ・適応指導教室の相談援助活動の一環として、保護者の派遣申請を受けて、校長が派遣申請をした不登校傾向の児童生徒に対し、相談員としてメンタルフレンド(予め市に登録された大学生等)を家庭に派遣する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・児童生徒を集団生活への適応を促すため、学校への復帰を支援する体制が整っている。  
 ・児童生徒の社会的立ち直りを側面的に支援している。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	通室児童生徒数	人	22	25	16	11
	メンタルフレンド登録者数	人	5	7	5	6
成果指標	適応指導教室の通室児童生徒数/不登校傾向の小中学児童生徒数	%	32	39	19	12
	メンタルフレンド派遣回数	回	190	214	140	206
事業費 計			931	723	676	707
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		931	723	676

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 非常に順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況) 不登校傾向の児童生徒を適応指導教室に受け入れ、児童生徒や保護者に対して各種支援を行うことで、集団活動への適応を促すことができている。また、不登校児童生徒の家庭へのメンタルフレンドを派遣することにより、児童生徒の社会性の向上が図られている。
--------	--	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学校体育・部活動推進事業(小学校)

[249]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0201	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童	小学校の部活動における技術的指導補助を行う外部講師を派遣する(1時間2,000円、1校あたり33時間)。小学校の金管バンドに対し、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を外部から派遣する(1校あたり2回)。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。
	児童がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化している。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	外部講師派遣時間数	時間	296	270	300	270
成果指標	部活動参加児童数の割合	%	66	82	92	87
事業費 計			941	889	960	890
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	941	889	960

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 児童がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化していることから参加児童数の割合が向上している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学校体育・部活動推進事業(中学校)

[250]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0202	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生 教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の部活動を指導する部活動指導員(臨時職員)を派遣する。(H30~) 1人180時間 H30 4人 &lt;県補助対象事業&gt;</li> <li>・中学校の部活動を対象として、必要に応じて技術指導補助を行う外部講師を派遣する。 謝礼 2,000円/時間 1校あたり508時間</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の吹奏楽部に対して、専門的な技術指導力を備えた音楽講師を派遣する。 1校あたり4回派遣</li> <li>・部活動の支援として、大会参加費、自動車借上料等を支給する。</li> </ul> <p>H29.3に県が教職員の多忙化解消プランを策定したのをうけ、H29.4「適正な部活動の運営について」として、市としての部活動運営に係る基本理念、指導上の留意点、部活動取り組みの方針を各学校に通知した。</p>
生徒がより部活動に興味をもって取り組み、部活動が活発化している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	外部講師派遣時間数	時間	1,743	1,755	1,755	1,899.8
	部活動への支援額	千円	4,604	4,736	3,900	5,479
成果指標	部活動参加生徒数の割合	%	86	91	86	91
	支援率	%	100	100	100	100
事業費 計			4,604	4,736	5,590	5,479
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	4,604	4,736	5,590

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> 余地が中程度	(状況) 生徒がより部活動に興味を持って取り組み、部活動が活発化していることから参加生徒数の割合が向上している。
--------	---	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	生徒及び保護者への負担が過大とならないよう、本市における部活動運営の方針を検討します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
保護者への負担が過大とならないようバスを借り上げて大会会場への送迎を行った。			

# 児童健康安全事業(小学校)

[261]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0203	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順)  各小学校に学校医(内科、眼科、耳鼻科)、学校歯科医及び薬剤師を置く。 学校保健安全法第13条に基づき、健康診断を行う。 尿検査(全学年)、心電図検査(小1、4)、結核検査(必要者のみ)を検査機関に委託する。 学校の管理下における児童の負傷・障害・死亡等にかかる災害共済掛金を支払つ。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	小学生が健康で学校生活を送ることができている。 小学生の負傷等の傾向を調査し、負傷する児童の数を少なくして、児童の健康の保持増進となる。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	検査参加人数	人	4,909	4,934	4,947	4,947	
成果指標	受診率	%	100	100	100	100	
	医療機関受診率				80	52	
事業費 計			44,002	41,760	42,390	42,037	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	44,002	41,760	42,390	42,037

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 一部遅延あり <b>【成果指標の状況】</b> 低下 <b>【成果向上余地】</b> 余地が大きい	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、児童の健康の保持増進を図ることができている。
--------	---	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 生徒健康安全事業(中学校)

[262]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0204	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生	各虫学校に学校医(内科、眼科、耳鼻科)、学校歯科医及び薬剤師を置く。 学校保健安全法第13条に基づき、健康診断を行う。 貧血(全学年)、尿検査(全学年)、心電図検査(中1)、結核検査(必要者のみ)を検査機関に委託する。 学校の管理下における生徒の負傷・障害・死亡等にかかる災害共済掛金を支払う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学生が健康で学校生活を送ることができている。 生徒の負傷等の傾向を調査し、負傷する生徒の数を少なくして、生徒の健康の保持増進となる。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	検査参加人数	人	2,479	2,432	2,352	2,352
成果指標	受診率	%	100	100	100	100
	医療機関受診率	%			80	34
事業費 計			18,674	18,306	18,538	17,928
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	18,674	18,306	18,538

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 一部遅延あり <b>【成果指標の状況】</b> 低下 <b>【成果向上余地】</b> 余地が大きい	(状況) 学校保健安全法で規定する児童生徒の健康診断を実施することにより、生徒の健康の保持増進を図ることができている。
--------	---	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学校体育支援事業

[266]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0205	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所に委託料を支払い、小中学校の体育事業の運営を委託する。</li> <li>事業内容：学校体育研究会・講習会の開催、学校体育管理に関する研究調査、中小学校生徒児童の体育大会の開催</li> <li>・市教委及び愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所が主催する小学校陸上記録会及び小学校球技大会の入賞者に対してメダルを授与する。</li> <li>・愛知県中小学校体育連盟に負担金を支払う。</li> <li>・瀬戸市中小学校体育連盟と共催で中学校総合体育大会瀬戸・旭地区大会を実施し、その経費分担金を支払う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒の体力が向上している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	愛知県中小学校体育連盟尾張旭支所への委託事業メニュー数	数	4	4	4	3
	愛知県中小学校体育連盟会費等負担金	千円	220	220	220	612
成果指標	小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数	人	429	658	350	653
事業費 計			1,254	1,254	1,264	1,272
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,254	1,254	1,264

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 小学5年～中学3年で実施する体力テストで「体力章」を授与した児童生徒数はほぼ横ばいである。</p>
--------	--	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 児童生徒健康管理事業

[236]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0206	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	健康教育の推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健診を実施する。</li> <li>・小学校2・4年生と中学校1年生を対象に年1回知能テストの検査を実施する。</li> <li>・市学校保健会に学校保健事業を委託する。</li> </ul> 事業内容：尾張旭市の小学校及び中学校における保健衛生の普及啓発、学校保健に関する調査・研究、学校保健に関する事業の企画・実践、学校保健関係者の研修
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
児童生徒が健康で学校生活を送ることができている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	検査参加人数	人	7,388	7,366	7,299	7,299
成果指標	受診率	%	100	100	100	100
事業費 計			2,949	2,916	3,224	3,260
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他	1	1	1	1
		オ 一般	2,948	2,915	3,223	3,259

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調	(状況) 学校保健安全法の規定により必要な検査を実施することができている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 学校給食センター事業

[1190]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0301	実施計画
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校児童生徒</li> <li>学校給食センター</li> <li>市民(食育関連)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年9月、学校給食センター稼働。</li> <li>学校給食センターの調理業務等の民間委託を平成22年8月1日から平成25年7月31日までと、平成25年8月1日から平成30年7月31日までを長期継続契約として行っており、平成30年8月1日からも引き続き行う予定である。</li> <li>安心して安全な学校給食を提供するため、引き続き、市が献立の作成、食材の購入、調理の指示・確認を行い、食の安全・安心を確保したうえで、民間企業に調理業務及び配送業務等を委託し、その中で専門的な知識・技術を活用し、業務の効率化を図り、経費を削減する。また、給食センターを中心に委託業者と連携し食育への取り組みの充実を図る。</li> <li>アレルギー対応食は、対応アレルギーを卵と乳について除去食・代替食を実施している。</li> <li>食育事業として、市民を対象とした、講演会や給食試食会を開催している。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全でおいしい給食を食べ健やかに成長している。</li> <li>市及び委託業者により適正に運営されている。</li> <li>健全な食生活を実践している。(食育関連)</li> </ul>	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績	
活動指標	調理した食数(年間給食回数)	食	1,384,248	1,379,593	1,385,000	1,369,518	
	調理したアレルギー対応給食数(卵、乳)	食	3,104	3,737	7,000	4,800	
成果指標	残滓量	kg	47,830	52,238	55,000	48,689	
	アレルギー給食の提供率	%	100	100	100	100	
事業費 計			442,136	439,691	492,380	469,057	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		332,596	330,069	381,677	355,690
		オ 一般		109,540	109,622	110,703	113,367

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>食べ残しが減るように、味付けの工夫や新しいメニューを加えるなどを行っている。</p> <p>また、アレルギー対応給食は保護者、学校と連携を図り、確実に提供している。</p>
--------	--	---

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	<p>食物アレルギーを持つ児童生徒にも安全・安心な給食を提供できるようにするため、アレルギー対応給食の取組に努めます。</p>		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>就学時アレルギー対応説明会を開催し、小学校新1年生へのアレルギー対応給食の提供開始を5月からに変更した。アレルギー対応給食の提供方法を一元化した。また、食物アレルギー対応給食対象者の増加に対応するため、アレルギー食調理室のIHテーブルを熱量の大きいものに変更した。</p>			

# 学校給食センター維持管理事業

[1222]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0302	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	学校教育における食育の推進	担当	教育委員会事務局 学校給食センター		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校給食センターの施設及び設置機器	平成25年度から学校給食センター運営事業(21-0301)の施設維持管理部門として事業の区分を行い、その経費を移行した。  安全で安心な学校給食を安定的に提供するため、施設や設備機器の監視点検及び修繕を実施する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	(主要活動内容) 施設、機器等修繕...不具合の発生した施設及び設備機器の修繕を実施 空調設備保守点検委託...空調設備の保守点検、調整、清掃等を実施 給湯設備保守点検委託...給湯設備の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施 昇降機保守点検委託...昇降機の保守点検、調整、監督官庁への報告等を実施
	調理業務等が支障なく行えるよう適切に維持管理され、重大な事故等が発生せず、安全性が保持できている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	施設・設備・機器修繕件数	件	26	37	20	30
	各種維持管理業務外部委託金額	千円	103,032	10,120	11,699	10,973
成果指標	機械設備の重大な不具合発生件数	件	0	0	0	0
事業費 計			55,808	50,657	59,842	55,890
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	55,808	50,657	59,842

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)修繕件数はほぼ横ばいであるが、業者による点検において、今後、経年劣化による不具合が生じる箇所があるとの報告を受けている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい  【成果向上余地】 余地が中程度	

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。		
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
職員や調理業務等委託業者による日常点検や専門業者による定期点検により、給食の提供が維持できるよう、適切に管理を行った。			

# 中学生海外研修事業

[285]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0902	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	尾張旭市立中学校3学年在校生	オーストラリアのヴィクトリア州ウィットルーシー市へ中学校3年生(12人)及び随行者(2人)が、9泊10日で訪問し、現地の中学校に体験入学・ホームステイを行う。 (費用負担:保護者5割 市費5割) ・応募者から、作文と面接による1次選考を行い、選考された生徒の中から抽選で参加生徒を決定する。 ・事前に保護者を含む説明会及び参加者の研修を実施する。 ・出発日には激励の出発式を行う。 ・帰国後に報告会を行うとともに報告書を作成する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	・参加生徒がホームステイや現地校への体験入学を通じ、外国の文化等に触れることにより、幅広い視野と国際感覚が育っている。 ・参加生徒の体験報告により、他の生徒も外国を身近なものとして興味をもっている。	H22年度は市制40周年を記念して、ウィットルーシー市セカンダリーカレッジの学生15名を本市へ招いた。 H29年度は中学生海外研修第25回目となり、市長が研修に同行した。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	生徒の研修日数	日	10	10	10	10
	参加生徒数	人	12	12	12	12
成果指標	ホームステイをして、よかったと思う生徒割合	%	100	100	100	100
	対象生徒に占める応募生徒の割合	%	4	7	12	12
事業費 計			3,878	3,878	3,878	3,608
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		3,878	3,878	3,878	3,608

## H29年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 非常に順調 【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が大きい	(状況) 研修参加後の生徒アンケートでは、全員が有意義な研修であったとの回答であった。
--------	---	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 就学児童・生徒調査事業

[286]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0903	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	就学児童・生徒	バッチ処理により学齢簿の作成。 就学児童・生徒の通知書の作成。 児童・生徒に係る異動の把握と学齢簿の作成。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
就学児童・生徒の確認及び異動を的確に把握することにより、迅速に就学通知及び学齢簿の作成等の就学事務ができています。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			923	931	998	977
指 標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	923	931	998

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定
--------	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 小学校入学・卒業報償事業

[288]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0904	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校1年生、6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生に入学式の日記念品として帽子を贈呈する。</li> <li>・小学校6年生に卒業式の日記念品として英和辞典を贈呈する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
小学校への入学あるいは卒業をするときに、記念品を受け取ることにより、新小学校生活の安全と、中学校での勉強の役に立っている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	入学式記念品の購入数	個	806	834	792	757
	卒業式記念品の購入数	個	800	823	829	839
成果指標	入学式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
	卒業式記念品を受け取った児童の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			2,217	2,145	2,200	2,005
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,217	2,145	2,200

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 非常に順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 児童が入学記念品及び卒業記念品を適切に受け取ることができている。
--------	---	--

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校卒業報償事業

[289]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0905	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校3年生	中学校3年生に卒業式の日に記念品として、卒業証書ホルダーを贈呈する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
中学校を卒業することにより義務教育が終了し、卒業式を終え、その節目になるものとして記念品を受け取ることにより卒業の喜びを深め、新生活で活用している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	記念品の購入数	個	823	865	821	830
成果指標	記念品を受け取った生徒の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			329	337	360	354
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	329	337	360

## H29年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 非常に順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 生徒が卒業記念品を適切に受け取ることができている。
--------	---	-----------------------------------

## H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	21-0908	実施計画	
施策	01	豊かな心・健やかな体を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (29年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	学校 教職員	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	指導主事派遣にかかる負担金を愛知県との協議により2分の1負担(28年度から2人目・3人目は3分の2負担)平成30年度までの暫定措置。平成31年度から、3人目の指導主事は市が直接採用する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		派遣人員:3人(H31から2人)	
	学校運営が適正に行われている。		指導主事3人を教育委員会事務局教育行政課へ配置 ・管理指導主事 ・教育行政課指導主事(2人) 定例会での指導伝達(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会) その他随時指導	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	27年度実績	28年度実績	29年度当初	29年度実績
活動指標	派遣指導主事の人数	人	2	3	3	3
成果指標	定例会開催回数(校長会、教頭会、教務主任者会、校務主任者会)	回	35	35	35	36
事業費 計			10,202	16,103	16,168	16,601
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	10,202	16,103	16,168

H29年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 愛知県教育委員会との協定により3人の指導主事が派遣されていることで、本市の学校教育行政の充実を図られている。</p>
--------	--	--

H29年度実施取組方針(H28年度本部結論)の実績評価

実施取組方針実績評価	H29年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H29年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-